



## 利用者の皆様へ

開園時間/9:00~17:30  
休園日/毎週月曜日  
※キャンプ場の予約は1か月前からできます。

## ツバキの仲間たち

県民の森にはヤブツバキを始めサザンカ、ヒサカキサザンカ、ヒサカキ、イジュが生育し花や香りが楽しめる。

ヤブツバキ *Camellia japonica*

別名:ツバキ、ヤマツバキ 方言名:チバチ、カタシ 英名:Common camellia

ツバキ 本州、琉球、中国

高さ2-10mの常緑小高木。花は冬~春にかけて咲き赤色。庭園、公園に植えられ、種を絞ってツバキ油が採れる。日本を代表する庭園樹で、多くの交配種の品種があり、各地域に愛好会があるほど親しまれている。



サザンカ *Camellia sasanqua*

方言名:チャー、シルチバチ 英名:Sasanqua camellia

ツバキ科 四国、九州~沖縄

高さ2-8mになる常緑小高木。花は晩秋から冬にかけて咲き、白色で芳香がある。庭園、公園、垣根に植えられている。



ヒサカキサザンカ *Tutcheria virgata*  
方言名:カーライーク、ミキゾ、フサレイジュ  
ツバキ科 沖縄部~八重山  
高さ10m前後に成長する常緑高木。他のツバキ科が冬から春に咲くのに対し夏に咲く。花は白で芳香がする。琉球の固有種。



イジュ (伊集) *Schima wallichii* subsp. *noronhae*

別名:ヒメツバキ 方言名:イズ 中国名/木荷 英名:Needlewood

ツバキ科 ヒメツバキ属 奄美~東南アジアに分布

高さ5-20mに成長する常緑高木。やんばるをはじめとする酸性土壌に生育する。花は初夏に咲き、芳香がある。満開時期の林道を散策するときは、芳香包まれて幸せな気分になる。「うりずん」の季節と呼ばれ、イジュの花を代表委する様々な花が山を彩る。実は夏の終わりに熟し茶褐色。固くなるので、工作の材料に使う。大木になるので、材は様々な用途に使われる。樹皮は毒成分が含まれていて、ササ(魚毒)として漁に使われていた。



ヒサカキ *Eurya japonica*

方言名:ガラサーギーマ 中国名:鈴木

ツバキ科 本州、南西諸島、中国

高さ1-4mに生長する常緑の低木。葉は楕円形で、縁にのこぎり状のギザギサがあり、長さ3-8cm。花は小枝の先につけ白色、早春に咲かせる。実は黒熟し、直径5mm。海岸から山地にかけて見られる。多くの地域で仏壇に供える習慣がある。



県民の森ニュースレター **ザ・フォレスト** 2026年2月号

県民の森管理事務所 〒904-0402 沖縄県国頭郡恩納村安富祖2028

TEL098-967-8092 FAX098-967-8094 <https://kenminnomori.okinawa/>

指定管理者 沖縄文化スポーツイノベーション株式会社[タピックグループ] 編集・発行:比嘉正一